

## 政策研究レポート

# ウィズコロナ時代における東海地方の旅行意識調査

～旅行意識の変化とともに、旅行行動においては、密を避け、安全・安心を求める傾向。  
 年末年始旅行はコロナ感染の状況を見て検討と取りやめが大半～

名古屋研究開発部 上席主任研究員 田中 三文

2020年3月以降の新型コロナ(以下コロナ)の感染拡大により、外出自粛、県境越えの移動自粛等により市民の旅行行動は抑制されました。その後、感染拡大は第2波、第3波と続いているものの、旅行者、受入側ともにコロナ対策を意識した新しい旅行のスタイルへと変化が見られます。本調査は、新型コロナウイルスの感染拡大によって東海地方に暮らす人々の旅行に対する意識の変化を把握するため、2020年12月4日～6日の3日間、インターネット調査会社の登録モニターから東海地方(愛知県、岐阜県、三重県、静岡県)の2,400サンプルから回答を得て、集計分析しました。

## 【結果概要】

### I. コロナ感染拡大による旅行意識の変化

1. 旅行意識の変化は、「大きく変化」が37.4%、「やや変化」が34.5%
2. 旅行行動の意識変化としては、「にぎわう観光地や混雑を避ける」が74.3%と最も顕著
3. 旅行訪問先選択で重視することのうち「訪問先のコロナ状況」は79.7%

### II. コロナ感染拡大後(2020年3月以降)の旅行実態

1. 日帰り旅行については、「大きく減少」が49.1%、「やや減少」が27.1%
2. 宿泊旅行については、「大きく減少」が57.4%、「やや減少」が18.9%

### III. 年末年始旅行・帰省旅行・初詣の予定

1. 年末年始の旅行は「コロナに関わらず予定」が10.1%、「コロナに不安があり取りやめ」が24.4%、「コロナの状況を見て再検討」と「コロナの状況を見て検討する」の合計が65.4%と、中止・様子見が大半
2. 年末年始の帰省旅行は「コロナに関わらず予定」が18.1%、「コロナに不安があり取りやめ」が23.9%、「コロナの状況を見て再検討」と「コロナの状況を見て検討する」の合計が57.1%と、中止・様子見が大半
3. 2021年の初詣は「三が日など混雑する日を避ける」が39.7%、「混雑する人出の多い寺社仏閣等は避ける」が37.6%と混雑を避ける意向

### IV. ウィズコロナ時代の今後の旅行予定・意向

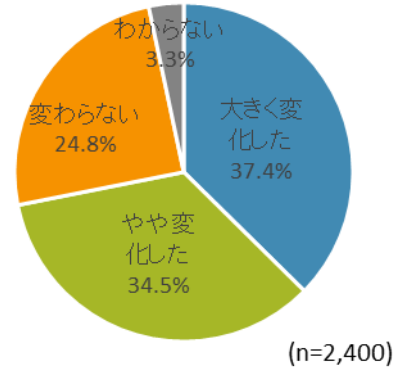
1. Go To トラベルキャンペーンを利用しての旅行意向のある人は合計で44.3%
2. 旅行形態別旅行の実施意向の時期については、まずは「近場の日帰り旅行」から
3. ウィズコロナ時代にしたい旅行のタイプは「温泉」「長期滞在型」「密を避けた自然のなかで癒し・リラックス」が上位

# I. コロナ感染拡大後の旅行意識の変化

## 1. 旅行意識の変化は、「大きく変化」が 37.4%、「やや変化」が 34.5%

コロナ感染拡大後(2020年3月以降)における旅行の意識変化について聞いたところ、「大きく変化した」が 37.4%、「やや変化した」が 34.5%となっており、これらを合わせた「変化した」と回答した合計は 71.9%と7割を超えている。

【コロナ感染拡大後の旅行意識の変化】



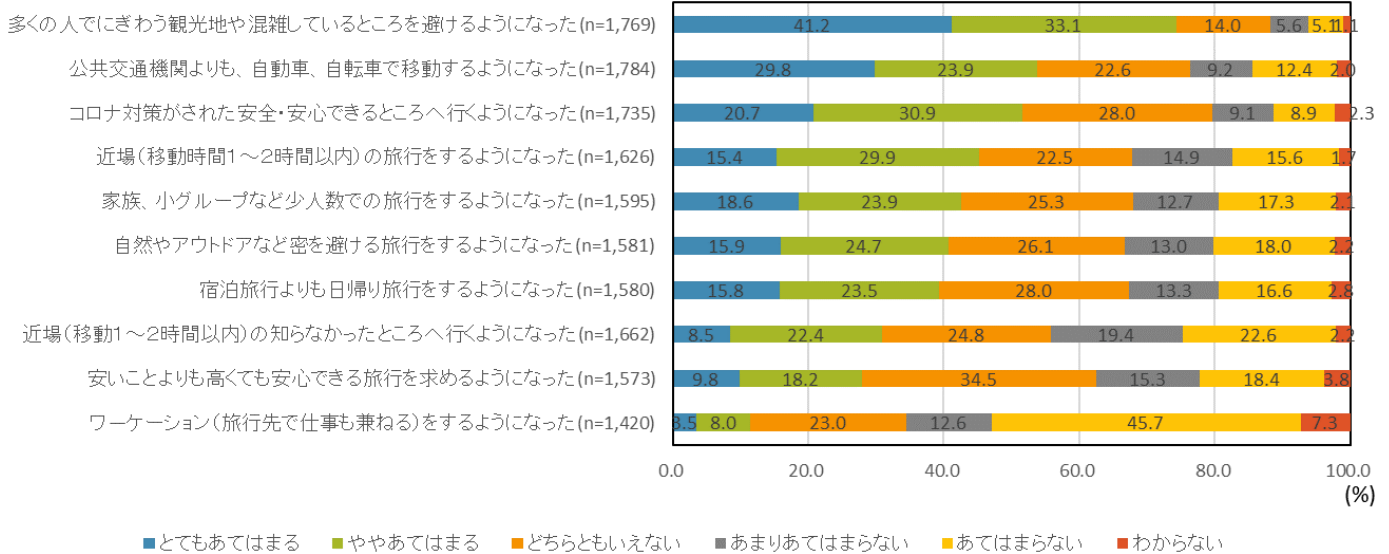
n=サンプル数(以下同)

## 2. 旅行に対する意識や行動の変化としては、「にぎわう観光地や混雑を避ける」が 74.3%と最も顕著

ウイズコロナ時代における旅行に対する意識や行動の変化について聞いたところ、「とてもあてはまる」と「ややあてはまる」を足した「あてはまる」の合計では、「多くの人でにぎわう観光地や混雑しているところを避ける」(74.3%)が最も多く、次いで「公共交通よりも自動車、自転車で移動」(53.7%)、「安全・安心できるところへ行く」(51.6%)が過半数を超えており、密を避け、自動車・自転車で、安全・安心なところへ行くといった意識が高まっていることがわかった。

(※サンプル対象からは各旅行行動をしない人を除く)

【コロナ感染拡大後の旅行行動の変化】



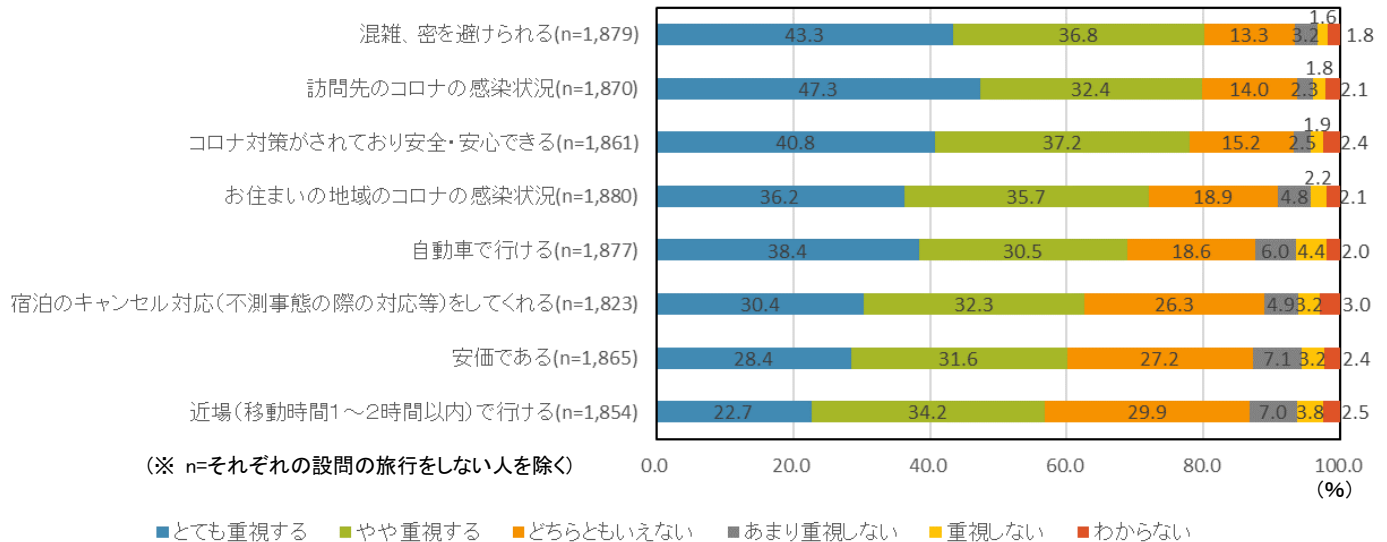
(※ n=各項目のタイプの旅行行動をしない人を除く)

### 3. 旅行訪問先選択、「訪問先のコロナの感染状況」を重視は 79.7%

ウィズコロナ時代における旅行訪問先選択で重視することについて聞いたところ、「とても重視する」と「やや重視する」を足した「重視する」の合計では、「混雑、密を避けられる」(80.1%)が最も多く、次いで「訪問先のコロナの感染状況」(79.7%)、「コロナ対策がされており安全・安心できる」(78.0%)と、この3点を重視する割合が約 8 割と高くなっていることがわかった。「とても重視する」で最も多かったのは「訪問先のコロナの感染状況」の 47.3%であり、「お住まいの地域のコロナの感染状況」の 36.2%よりも高く、居住地よりも訪問先の感染状況をより重視することがわかった。

(※サンプル対象からはそれぞれの設問の旅行をしない人を除く)

【コロナ感染拡大後の旅行訪問先選択で重視すること】



■ 訪問先のコロナの感染状況(地域別)

	サンプル数	とても重視する (%)	やや重視する (%)	どちらともいえない (%)	あまり重視しない (%)	重視しない (%)	わからない (%)
名古屋市	244	41.4	37.7	13.5	2.9	3.3	1.2
名古屋市を除く尾張	239	44.4	35.1	12.6	2.1	3.3	2.5
愛知県西三河	225	41.8	32.0	18.7	3.1	2.2	2.2
愛知県東三河	247	42.9	37.7	12.6	3.6	0.8	2.4
岐阜県	236	52.1	29.7	12.3	1.3	2.1	2.5
三重県	225	52.0	29.8	14.7	1.3	1.3	0.9
静岡県東部	223	51.6	28.7	14.8	2.7	0.4	1.8
静岡県西部	231	53.2	27.7	13.4	1.3	0.9	3.5

## Ⅱ. コロナ感染拡大後（2020年3月以降）の旅行実態

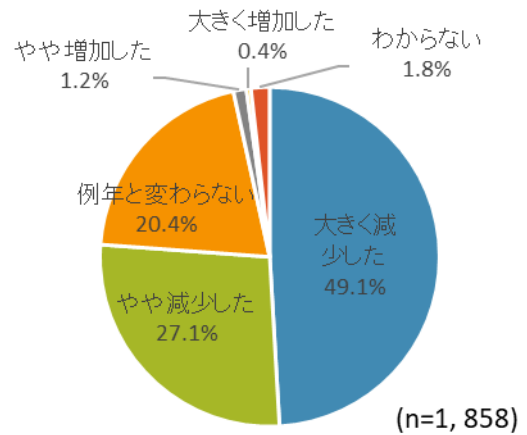
### 1. 日帰り旅行は、「大きく減少」が49.1%、「やや減少」が27.1%

コロナ感染拡大後における日帰り旅行の変化について聞いたところ、「大きく減少した」が49.1%、「やや減少した」が27.1%となっており、減少した人は合計で76.2%であった。

一方、「大きく増加した」は0.4%、「やや増加した」は1.2%で、増加した人は合計で1.6%であった。

（※サンプル対象は日帰り旅行をしない人を除く）

【新型コロナ感染拡大後の旅行実態（日帰り旅行）】



※日帰り旅行をしない人を除く

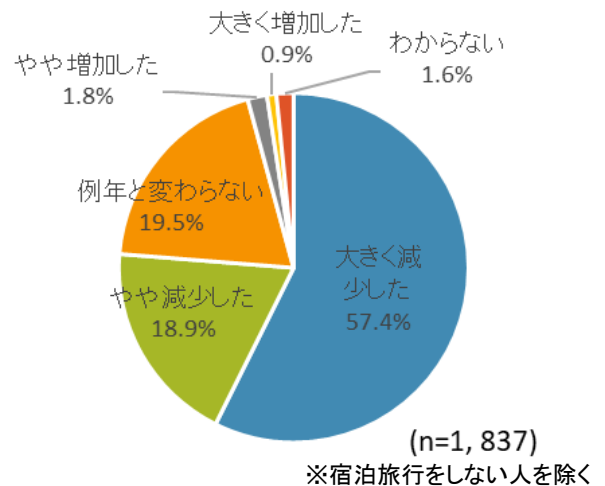
### 2. 宿泊旅行は、「大きく減少」が57.4%、「やや減少」が18.9%

コロナ後における宿泊旅行の変化について聞いたところ、「大きく減少した」が57.4%、「やや減少した」が18.9%となっており、減少した人は合計で76.3%であった。

一方「大きく増加した」は0.9%、「やや増加した」は1.8%で、増加した人は合計で2.7%であった。

（※サンプル対象は宿泊旅行をしない人を除く）

【新型コロナ感染拡大後の旅行実態（宿泊旅行）】

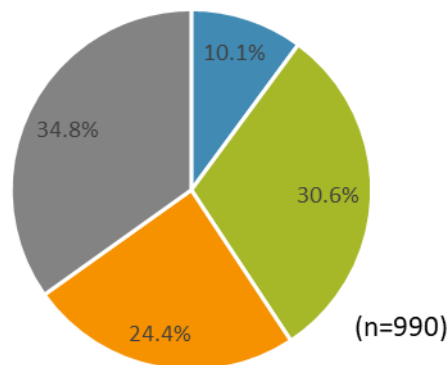


### Ⅲ. 年末年始旅行・帰省旅行・初詣の予定

#### 1. 年末年始の旅行は「コロナに関わらず予定」が 10.1%、「コロナに不安があり取りやめ」が 24.4%、「コロナの状況を見て再検討」と「コロナの状況を見て検討する」の合計が 65.4%

年末年始の旅行を予定、あるいは検討している人に年末年始の実際の旅行予定について聞いたところ、「コロナの感染状況に関わらず旅行する予定」が 10.1%で、逆に「旅行を予定していたが、コロナの感染状況に不安があり旅行はしない」が 24.4%となっている。また、「旅行する予定であるが、コロナの感染状況を見ながら再検討する」が 30.6%、「旅行の予定はしていないが、コロナの感染状況を見て旅行を検討する」が 34.8%となっており、コロナの感染状況を見ながら検討する人の合計が 65.4%と約 3 分の 2 いることがわかった。  
 (※サンプル対象からは旅行の予定もなく、コロナに関わらず旅行をしない人を除く)

【年末年始旅行の予定】

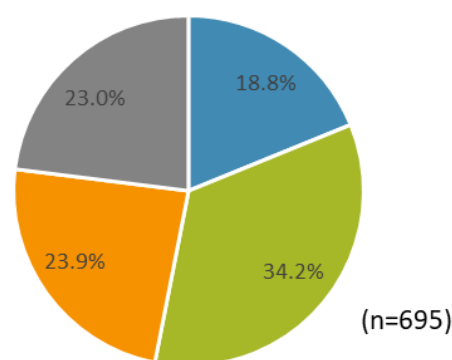


- コロナの感染状況に関わらず旅行する予定である
- 旅行する予定であるが、コロナの感染状況を見ながら再検討する
- 旅行を予定していたが、コロナの感染状況に不安があり旅行はしない
- 旅行の予定はしていないが、コロナの感染状況を見て旅行を検討する

#### 2. 年末年始の帰省旅行は「コロナに関わらず予定」が 18.8%、「コロナに不安があり取りやめ」が 23.9%、「コロナの状況を見ながら検討する人の合計は 57.2%

帰省先があり、帰省旅行をする可能性のある人に年末年始の帰省旅行予定について聞いたところ、「コロナの感染状況に関わらず旅行する予定」が 18.8%で、逆に「帰省旅行を予定していたが、コロナの感染状況に不安があり帰省旅行はしない」が 23.9%となっている。また、「帰省旅行する予定であるが、コロナの感染状況を見ながら再検討する」が 34.2%、「帰省旅行の予定はしていないが、コロナの感染状況を見て旅行を検討する」が 23.0%となっており、コロナの感染状況を見ながら検討する人の合計が 57.2%と半数以上いることがわかった。  
 (※サンプル対象からは帰省先のない人及びコロナに関わらず帰省旅行をしない人を除く)

【年末年始の帰省旅行の予定】



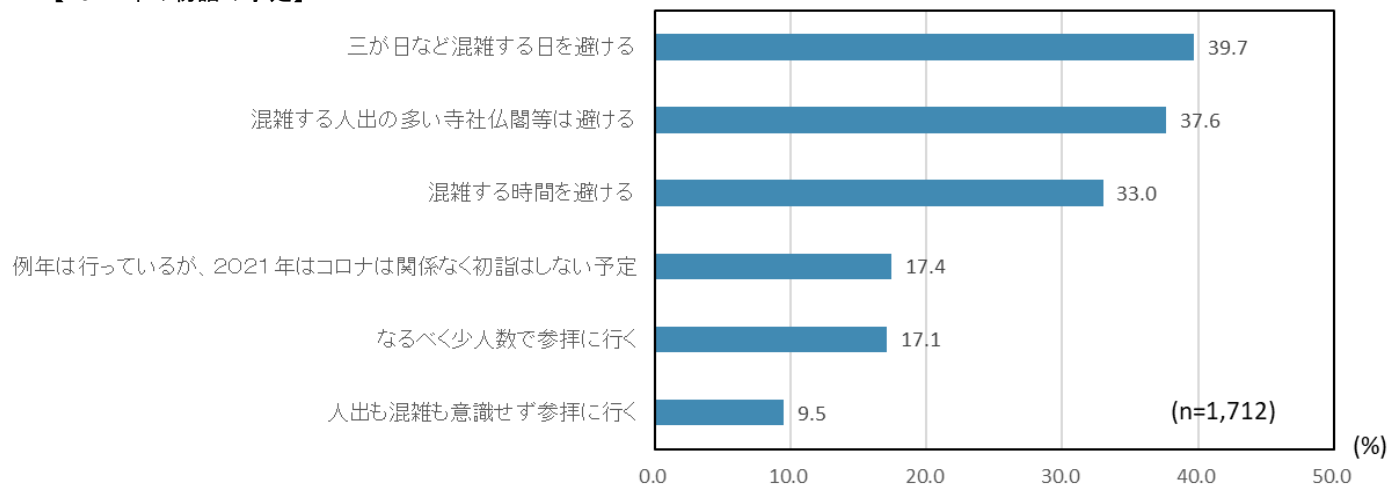
- コロナの感染状況に関わらず帰省旅行する予定である
- 帰省旅行する予定であるが、コロナの感染状況を見ながら再検討する
- 帰省旅行を予定していたが、コロナの感染状況に不安があり帰省旅行はしない
- 帰省旅行の予定はしていないが、コロナの感染状況を見て帰省旅行を検討する

### 3. 2021年の初詣は「三が日など混雑する日避ける」が39.7%、「混雑する人出の多い寺社仏閣等は避ける」が37.6%と混雑を避ける意向

例年初詣をする人に2021年の初詣について聞いたところ(複数回答)、「三が日など混雑する日避ける」が最も多く39.7%、次いで「混雑する人出の多い寺社仏閣等は避ける」(37.6%)、「混雑する時間を避ける」(33.0%)となっており、3~4割の人が混雑を避けて初詣に行く予定であることがわかった。

(※サンプル対象からは例年初詣に行かない人を除く)

【2021年の初詣の予定】



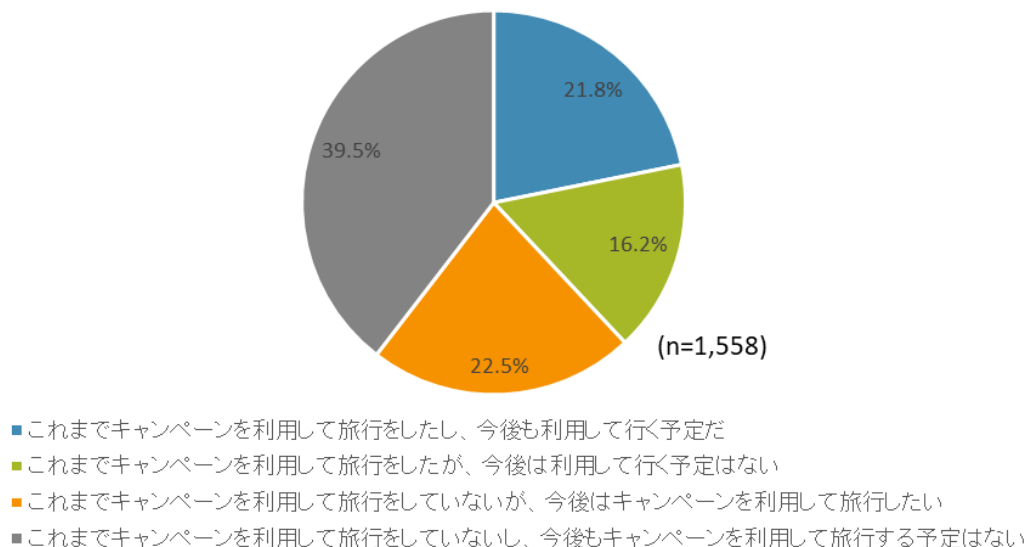
## IV. ウィズコロナ時代の今後の旅行予定・意向

### 1. Go To トラベルキャンペーンの利用意向のある人は合計で44.3%

Go To トラベルキャンペーンを利用した旅行について聞いたところ「これまで利用したし、今後も利用を予定している」人が21.8%、「これまで利用していないが、今後は利用したい」とする人が22.5%と、キャンペーンを利用する意向がある人の合計では44.3%であった。

(※サンプル対象からは旅行をしない人を除く)

【Go To トラベルキャンペーンを利用しての旅行意向】

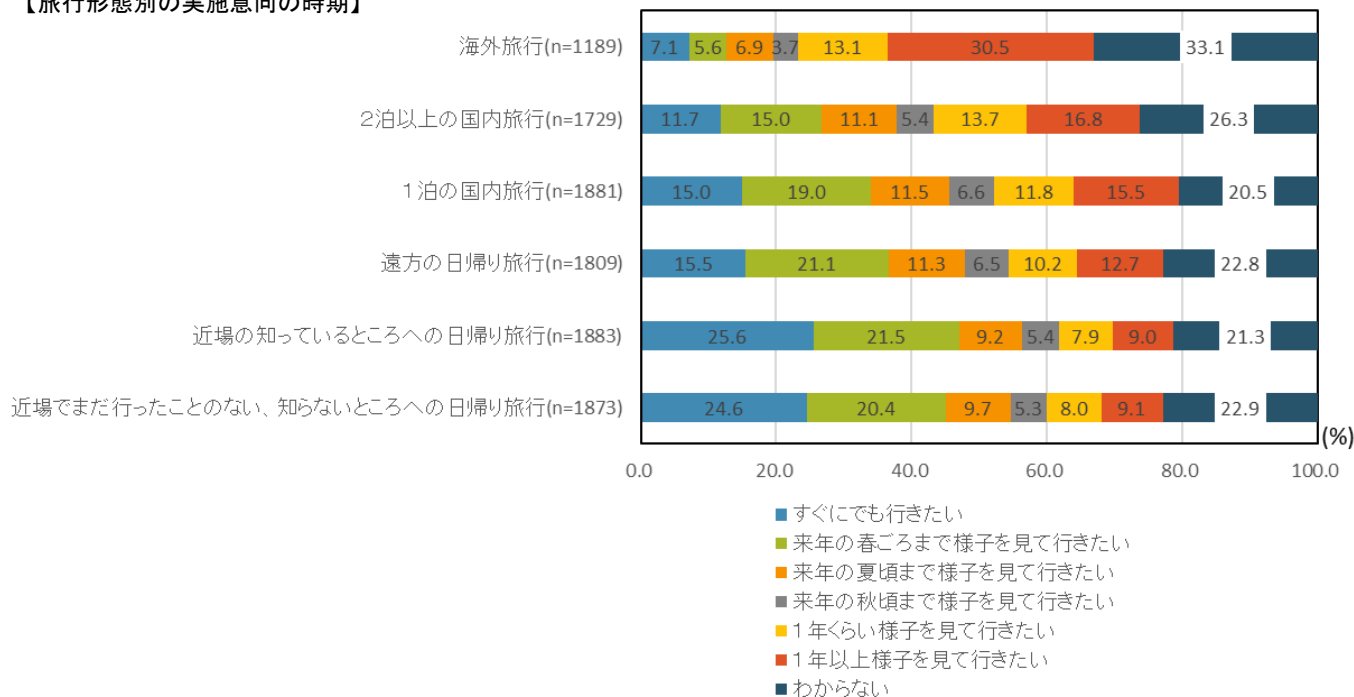


## 2. 旅行形態別の実施意向時期については、まずは「近場の日帰り旅行」から

旅行形態別に旅行についての実施意向時期を聞いたところ、「すぐにでも行きたい」という回答が多かったのは「近場の知っているところへの日帰り旅行」(25.6%)、「近場でまだ行ったことのない、知らないところへの日帰り旅行」(24.6%)だった。一方、海外旅行においては、「1年以上様子を見て行きたい」とする人(30.5%)が最も多くなっている。

(※サンプル対象からは各タイプの旅行をしない人を除く)

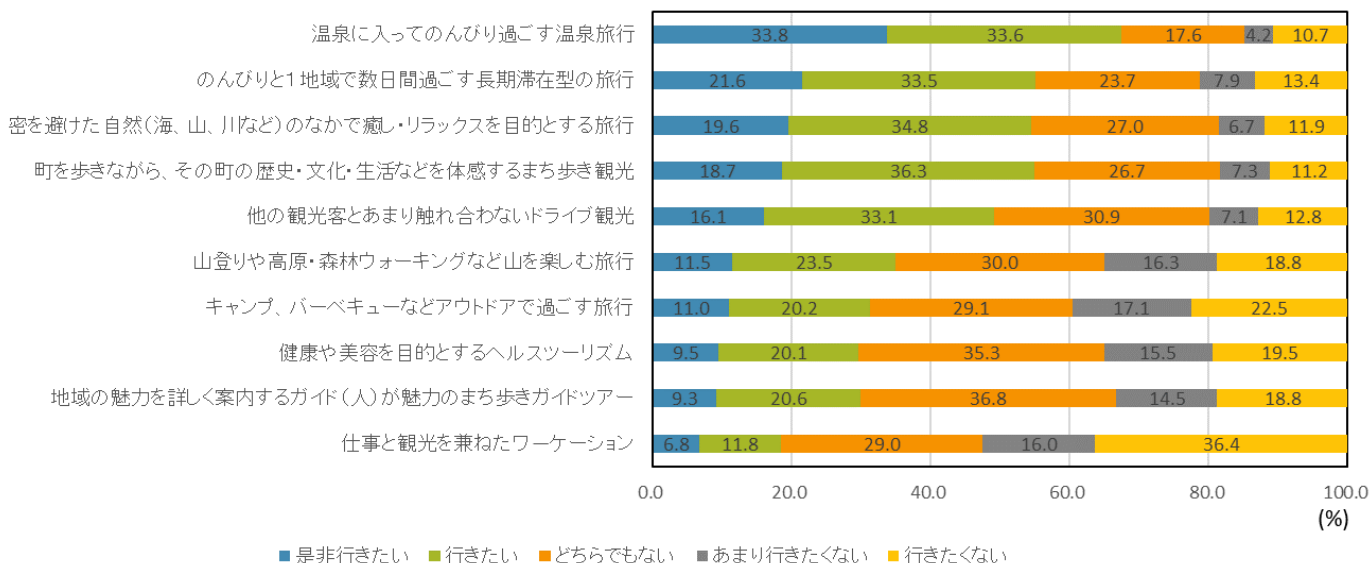
【旅行形態別の実施意向の時期】



## 3. ウィズコロナ時代にしたい旅行のタイプは「温泉」「長期滞在型」「密を避けた自然のなかで癒し・リラックス」が上位

ウィズコロナ時代に行きたい旅行のタイプについて聞いたところ、「是非行きたい」とする強い意向については、「温泉旅行」が 33.8%と最も多い結果となった。また、「のんびりと1地域で過ごす長期滞在型旅行」、「密を避けた自然のなかで癒し・リラックスを目的とする旅行」、「まち歩き観光」は、「是非行きたい」と「行きたい」の合計が 50%を超えた。

【旅行形態別の実施意向の時期】



**【調査概要】**

- 調査実施日:2020年12月4日～6日
- 調査手法:インターネットアンケート。インターネット調査会社の登録モニターから東海地方(愛知県、岐阜県、三重県、静岡県)で2,400サンプルからの回答を得て、分析。
- サンプル内訳:愛知県1,200(名古屋市、名古屋市を除く尾張、西三河、東三河各300)、岐阜県300、三重県300、静岡県600(西部、東部各300)  
性別は各地域で男女均等、年代は20代、30代、40代、50代、60代以上均等(一部不足年代は近い年代で補填)において実施しました。
- 調査主体:三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)    ■調査協力:(株)クロス・マーケティング

## — ご利用に際して —

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。